

## 令和 6 年度第 3 回日進市議会定例会 一般質問・答弁内容（図書館関係分）

## 小出あさこ議員（個人質問）

## 1 略

## 2 図書館の現状と今後のサービス強化について

(1) 「生涯の学び」やキャリア教育を行うために、読書は大切な存在と位置付けられる。その点で図書館は今後どのように役割を果たすのか伺う。

① 生涯の学びや幼いころからキャリア教育を学ぶために、図書館ではどんなサービスを提供していくのかお聞かせください。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

図書館は、世代を問わず、誰もが多様な知識や情報を得る学びを支援しています。老若男女、幼い子ども、自分で自由に本を読んだり外出したりするのが困難な方も、本を読んで楽しみ、本に親しんでいただけるよう「生活の中に開かれた図書館」を目指しています。

経験や実体験から学ぶことは、キャリア教育の第一歩になります。さらに、読書という疑似体験は、その幅を広げてくれます。そこで、図書館では読書に加え、お話し会や、図書館の利用方法を学ぶクイズラリー等の参加型事業を開催しています。図書館に行けば楽しいことが待っていることを子どもの頃の原体験となるよう注力してまいります。

また、障害があり、読書や外出が困難な方へのサービスは録音図書の貸出等を実施していますが、そのほかにも様々な理由で図書館利用が難しい方も含め、誰でも利用できることが必要だと考えています。

今後も、図書館は、単に本の貸出や学習席の提供に留まるのではなく、図書館が「知の拠点」となり、積極的な生涯の学びキャリア教育を支援する役割を果たしてまいります。

② 「知の拠点」とは具体的にどのようなことを指しているのでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

図書館は、子どもにとっては、親や教員以外の様々な世代の人と関わることで、生きた社会を学ぶことができる場であると考えます。

また、全ての市民にとって、本の紹介や調査研究の一助となるレファレンスなどが気軽に活用でき、いつでも多様な知識や情報を自ら手に入れることができる場であります。

さらに、本市図書館ホームページでは、日進市デジタルアーカイブとして、行政資料のみならず、地域資料として図書館所蔵資料及び写真資料の公開、映像資料として、ドローン撮影風景、にっしんテレビ映像資料などの公開をしています。

これらを活用し、利用者の方が知識を高めるとともに、知識を得た方からの提供資料を発信していくなど、図書館が「知の拠点」として、知の循環を図ることのできる仕組みを目指してまいります。

③ 小中学校図書館では電子書籍サービスを導入して非常に効果が上がっている。市立図書館でもさらなるサービス拡充を考えていく時期ではないかと考えるがいかがでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

議員ご指摘の通り、学校図書館での電子書籍サービス導入は、子どもたちが気軽に読書を体験できる身近な環境の一つとなりました。

市立図書館の利用登録者は約3万5千人で、利用拡大のために市内公共施設への配本サービスなどを実施しています。貸出冊数はピーク時の110万冊からコロナ禍を経て、現在94万冊程度となっています。

図書館は、教育における基礎的インフラであり、多様なサービスを実施して読書の重要性を周知していく役割があると考えています。読書や外出が困難な方など現状の図書館を利用できずにいる方も含め、ICT社会での市民の意識やライフスタイルの変化に対応するためにも、その役割を果たす手法として、市立図書館への電子書籍サービスの導入について調査、研究をしてまいりたいと考えています。

白井えり子議員（個人質問）

1 教育長の所信表明について問う

(1) 略

(2) 略

(3) 東部丘陵及びその周辺のすばらしさを述べられ、「生涯学習スポットとして活用を目指したい」とある。30年近くの市民の保全活動のこれまでの膨大な資料を、市の財産として図書館などに正式に保管できないでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

図書館における資料の受領につきましては、寄贈資料の受領基準に照らし合わせて運用しております。

今回ご質問の資料につきましても、その基準等により判断することとなります。

2 略

田中とおる議員（個人質問）

1 略

2 図書館のより良いサービス向上について

(1) 日進市立図書館ではどのように市民のリクエストを取り入れているのでしょうか。

【図書館】

答 弁 生涯学習部長

図書館では、利用者からのリクエスト、要望に応じ、市立図書館に所蔵していない本の購入や、愛知県内の市町村立図書館等が所蔵する図書の利用を行い、貸出しをしています。

本の購入については一定の基準をもって運用をしており、約2,000冊を購入して貸出しし、また、同程度の冊数を他市町村の図書館から借用して貸出しすることにより、利用者からの読みたい本のリクエストについては、概ね対応しております。

(2) ご答弁から推測すると、利用者からのリクエストはおよそ年間 4,000 冊ほどと捉えてよろしいのでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

そのとおりでございます。

(3) 他の市町の図書館から本を借用するのはどのような制度でしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

図書館には相互貸借という制度があり、愛知県内の全ての公立図書館で相互に本を貸し借りすることができるようになっております。

(4) 先ほどの答弁で「概ね対応」との事ですが、やむを得ず対応が難しいケースはどのような事があるのでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

事例としては、図書が品切れとなり、市立図書館で購入することも、愛知県内の他の図書館から借用することもできなかった場合は、お断りすることがございます。

(5) 書籍によっては、全集の中で一部が足りないなどのケースがあると聞いているが、購入すべき一定の基準に残念ながら満たされなかった、または購入が不可能であったと考えればよいのでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

全集や続巻のある図書については、通常は全て揃えて購入しています。ただし、購入後に一部の図書が貸出しの際に汚れや破損等で失われ、絶版や品切れなど再購入ができなかった場合が考えられます。

(6) 図書館のホームページをよりわかりやすく伝えるため、内容的にリンクする情報をまとめていただくなどよりよい改善をしてほしいと考えるがご対応いただけますでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

利用者の知りたいことが探しやすい図書館のホームページになるよう、工夫をしております。

(7) 図書館で除籍された資料は、定期的に市民に譲渡していると聞いている。本の除籍に関してどのように運用しているのでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

現在、市立図書館は書庫を含め約 42 万冊の資料を所蔵しております。図書館は、最新の情報を提供するとともに常に利用可能な状態を維持しておく必要があるため、内容、状態、利用が不十分等の一定の除籍基準を持ち運用しております。

資料の受入・除籍は対になる業務であり、年間 1 万冊程度の資料を入れ替えております。また、除籍資料をすぐに廃棄するのではなく、図書館での貸出に適さないものや、絵本な

どで複数ある古い本等をリサイクル図書とすることで、利用者に有効活用いただいております。

(8) 書庫を拡張して大事な資料をより多く保存することはできないでしょうか。

【図書館】

答 弁 生涯学習部長

図書館の蔵書数につきましては、文部科学省の設置する有識者で構成された会議の報告書におきまして、本市と人口が同規模の場合の目標基準例として、約41万冊と示されております。本市の蔵書数は、令和6年3月末現在約42万冊であり、その基準に達していると考えております。

現状のスペースの拡張という面では、隣接する場所においてもすでに他の用途に利用しており、場所の問題も生じることから、すぐには難しいものでございます。

資料の保存ということではありますが、図書館では、愛知県内の図書館ネットワークが行っている「ラストワンプロジェクト」に参加し、県内の図書館での所蔵が最後の1冊になった資料を各図書館で保存する取組に参加し、保存、活用に取り組んでおり、本市としましては、現在、書庫の拡大は考えておりません。

(9) この「ラストワンプロジェクト」に該当する書籍も、先に述べられた県内の相互貸し借りの対象になるのでしょうか。【図書館】

答 弁 生涯学習部長

そのとおりでございます。